

2.放課後児童クラブ開設

4～5月は、開設準備に向け情報収集しながら運営方法等細かな規定、学童部屋レイアウトを検討。また、参考になるよう既存児童クラブ施設見学等を行いました。

5月後半から1名、週4日程度利用。

学生ボランティアさんにも協力してもらい、夏休み特別企画（女木島へ行こう！／屋島水族館へ行こう！）を計画し、夏休みの自由研究にしています。

また、絵画の先生にも来ていただき、夏休みの宿題のほか、柔軟な発想で表現した絵を作品として応募する事にも挑戦中です。



8月19日（金）、夏休みのイベントで女木島に行ってきました。

体調確認や適宜消毒、人ごみではマスクもつけて、女木島へ。

利用している子どもさんが希望された海水浴、メントスコーラならぬメントスペプシフルーツポンチ、大洞窟も見てきました。

このイベントには大きなミッションが…それは、「にーにでも行けるかな？」の検証をすること。この子のお兄ちゃんは、医療的ケア児さんでバギーを使用しています。

バギーが通れるか、電車やフェリーの段差などを調べました。車に乗ってフェリーを使ったら、女木島に行けそう！でした。

「船、久しぶりなんよね」「海、楽しすぎる！」「（奥まった大洞窟の宝庫を見て）盗られんようにああやって置いてるんやね。万全のセキュリティやね」等とたくさんの経験をしました。最後に、お兄ちゃんと自分、おそろいのぬいぐるみをお土産に買って帰りました。いい夏の思い出になりました



8月26日(金) 夏休みの終わりに、新屋島水族館に行ってきました。電車とバスで向かいました。イルカ、ペンギン、カワウソなど、たくさんの海のいきものたちと触れ合い、えさやり体験もしてきました。水族館すぐ近くで、瓦投げも体験できました。水族館は広くバリアフリーとなっており、車椅子でも十分回れそうなので、今度はお兄ちゃんに行けたらいいなあ。とのこと。海のいきものに興味津々でした！



3月24日(金) セロテープ工作ワークショップを行いました。世界で唯一のセロテープアート®作家『瀬畑亮さま』に ZOOM を使ってレクチャーをしていただきました。リモートだったので、子どもたちの反応が不安でしたが、心配することなくしっかりお話もきけて、とても楽しんで取り組んでいたのが驚きで印象的でした。セロテープアートはとても奥が深く、知らないことばかりで、子どもはもちろん大人もみんな一緒に楽しむことができました。



日常風景

